



< 1月号 >

朝三中だより

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

朝霞市立朝霞第三中学校
令和5年12月22日発行

〒351-0023
朝霞市溝沼1043-1
TEL 048-464-7575
FAX 048-467-4742

校長 嶋 徹

本格的な冬の到来で、北海道や東北地方などから大雪のニュースが伝わってきました。今年も余日わずかとなりました。本年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

家族の皆様がお揃いでよい年をお迎えくださいますよう、心からお祈り申し上げます。



心の豊かさとは

「豊かさ」と聞いたら、どんなことを思い浮かべるでしょうか。物質的な豊かさや経済（金銭）的な豊かさをイメージする人がいるのかもしれませんが。現代社会は技術革新が急速に進展して工業製品が大量生産・大量消費され、「モノ・カネ」が豊かになりました。さらに日常生活の中でも最先端のAI（人工知能）や人間のように自然な会話ができるチャットGPTが、身近に感じる時代になっています。生活は確実に便利になっていますが、必ずしも「モノ・カネ」の豊かさ＝「心」の豊かさではありません。SNSによる誹謗中傷やいじめなどの問題も多発していて、これまで以上に「心」の豊かさが求められています。

作家えらせん氏は「心が貧しい人と豊かな人の違い7選」の中で、心のあり方による違いを指摘しています。自分を見つめるきっかけの1つにしてみてください。

① 「心」が貧しい人は損得勘定で動く、豊かな人は相手の幸せで動く。

心が貧しい人は、行動や関係性を損得勘定で評価し、自分の利益を優先する。心が豊かな人は、相手の幸せを考えることで自己満足を得るので、共に幸せを分かち合う姿勢を持っている。

② 「心」が貧しい人は正しさを探す、豊かな人は嬉しさを探す。

心が貧しい人は、正しさを主張することにエネルギーを使いがちである。心が豊かな人は、自分や他人の嬉しさを探し、ポジティブな視点で物事をとらえることができる。

③ 「心」が貧しい人はプライドが高い、豊かな人は誇りが高い。

心が貧しい人は、自分を守るためにプライドを持ち、他人の評価を気にする。心が豊かな人は、自分の価値を理解し、誇りを持ちながらも謙虚さを忘れない。

④ 「心」が貧しい人は許せない人がいる、豊かな人は大好きな自分がある。

心が貧しい人は、他人の行動に対して許容できないことがある。心が豊かな人は、自分自身を愛し、自己肯定感を高めることで他人を受け入れやすくなる。

⑤ 「心」が貧しい人は自分が幸せ、豊かな人は自分も幸せと感じる。

心が貧しい人は、幸せを外部から求めがちである。心が豊かな人は、内なる幸福感を感じ、外部の状況に左右されずに幸せを感じることができる。

⑥ 「心」が貧しい人はないものを求める、豊かな人はあるものを大切にする。

心が貧しい人は、足りないものを追い求め、物質的な欲望にとらわれる。心が豊かな人は、既に持っているものや経験を大切にして満足感を得ることができる。

⑦ 「心」が貧しい人は奪い合い、豊かな人は与え合うことができる。

心が貧しい人は、競争や比較によって他人を上回ろうとする傾向がある。心が豊かな人は、与えることの喜びを知り、他人と協力し合いながら成長を遂げる。

心が貧しいか豊かなのかは、考え方や価値観に影響を与えます。心を豊かに育てることで、より幸福で充実した人生を築くことができます。心が変われば行動が変わる。この違いを意識して、より豊かな心を育てていきましょう。